

令和4年度事業報告

I はじめに

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない状況のなか、引き続き様々な活動の自粛や中止を余儀なくされるなど、前年度同様に影響を受けたところであります。

このような中で取り組んできた令和4年度の主な事業の結果ですが、まず、会員数については、新規会員の獲得に向けて、広報誌「シルバーだよりはむら」の全戸配布や会員の口コミによる「一人一会員入会運動」の実施、羽村駅・小作駅掲示板に会員募集チラシを掲示するなど、積極的に情報発信を行い、入会促進を図りましたが、企業等における定年後再雇用制度の定着やコロナ禍の影響等もあって、入会者より退会者の方が多くなり、令和5年3月末現在589名で、前年度と比較して10名の減となりました。

受託事業（請負）では、受託件数が4,341件と前年度比で5.2%増となり、契約金額は、前年度比1.1%増の212,766千円となりました。公民比については、公共が44%、民間が56%となり、前年度比で公共が1.0ポイント増となりました。就業実人員は、前年度比0.6%増の475人、就業率は、80.6%となりました。

一方、派遣事業については、受託件数は6件、契約金額では、前年度比10.9%減の31,078千円、就業実人員は、前年度比11名増の50人となりました。契約金額が大幅に減少した要因は、一部大手企業の契約が契約期間満了で終了となったことが挙げられます。

計画した事業については、感染防止対策を講じた上で、会員の資質向上や技術を高めるための各種研修会、講習会の実施、安全・適正就業の推進等に取り組みました。

さらに、地域貢献事業として、市内清掃ボランティア活動、小学校通学児童見守りボランティア活動、保育園訪問ボランティア活動などに取り組みました。

このほか、センター独自事業の「ステップアップスマートフォン教室」開講やデジタル活用支援推進事業（国庫補助事業）を活用した「初心者向けスマートフォン教室」を11月から1月にかけて実施しました。

また、センターでは、羽村市及び株式会社ジモティーとリユース活動の促進に向けた協定を締結し、「リサイクルショップ」で再生した家具や生活雑貨などの情報をジモティーに掲載し、ごみ減量に努めたほか、令和5年10月より施行される「インボイス制度（消費税の適格請求書等保存方式）」導入に伴う対応として、発注者の理解と協力をいただきながら、発注者に負担を求めることといたしました。

以上、令和4年度の事業実施結果の概要といたしますが、事業計画で定めた個々の事業実施結果については、次ページ以降のとおりといたします。

令和5年5月

公益社団法人
羽村市シルバー人材センター
会長 船木 信雄

Ⅱ 事業実績

1 会員の異動状況

令和4年度		令和5年3月末 会 員 数	前 年 度 比
入会者	退会者	589 人 (男375人 女214人)	△10人 (△1.7%) (男△14人 女4人)
60人	70人		
男32人 女28人	男46人 女24人		

2 事業実績

(1) 受託事業 (請負)

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	4,341 件 (公共558件 民間3,783件)	214件 5.2%
契 約 金	212,766,487 円	2,364,692 円 1.1%
	公共 93,639,490 円 民間 119,126,997 円	
配 分 金	195,676,697 円	2,050,008 円 1.1%
就業延実人員	16,080 人	223 人 1.4%
就業延日人員	63,728 人	△126 人 △0.2%
公 民 比	44.0 : 56.0	公共 1.0pt 民間△1.0pt
就業実人員	475 人	3 人 0.6%
就 業 率	80.6%	1.8 ポイント

(2) 労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	6 件 (公共2件 民間4件)	1 件 20.0%
契 約 金	31,077,938 円	△3,792,067 円 △10.9%
	公共 26,902,818 円 民間 4,175,120 円	
賃 金	24,892,055 円	△2,230,960 円 △8.2%
就業延実人員	363 人	△25 人 △6.4%
就業延日人員	3,627 人	△551 人 △13.2%
公 民 比	86.6 : 13.4	公共 8.9pt 民間△8.9pt
就業実人員	50 人	11 人 28.2%
就 業 率	8.5%	2.0 ポイント

Ⅲ 事業の実施状況

※事業名欄

(新規)：中期計画に掲げた事業で、当該年度に新たに記載した事業

(追加)：中期計画に掲載はなく、当該年度に新たに追加した事業

(再掲)：それ以前に掲載されている事業

1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

(1) センターPRの強化

「シルバーだよりはむら」などの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 『シルバー人材センター』のイメージアップ活動 【広報部会】	シルバーだよりはむらやホームページ等で、ボランティア活動、各種教室、サークル活動等、仕事以外の活動についてPRを行った。	仕事以外の活動を含めピックアップしてPRしました。
② 女性をターゲットにしたPR 【女性部会】	・シルバーだよりはむら(8月号)で「保育園訪問ボランティア」「手芸・編物品販売」「女性会員募集」の記事を掲載した。 ・小作駅・羽村駅掲示板に女性会員募集ポスターを掲示した。(8月～11月) ・羽村市観光協会へ会員募集チラシの配架依頼をした。(10月) ・羽村市高齢者クラブ連合会理事会時に女性会員募集チラシを配布した。 (11月 28団体10部ずつ)	シルバー女性会員の魅力度を一般市民へ浸透させ、シルバーの認知度をより高め、女性会員数の増強を図った。
③ 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング 【広報部会】	『シルバーだよりはむら』会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
④ 新規会員獲得のための継続的な活動 【総務部会】	新規入会キャンペーンとして、令和4年9月～12月まで「一人一会員入会運動」を実施した。入会者8名	会員数の増強を図った。

事業名	実施結果	備考
⑤ Web 入会の推進 【広報部会】	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 申込数 18 件 入会者 5 名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。
⑥ ハローワークとの連携 【就業開拓委員会】	ハローワークにおけるシルバー会員向けの求人ニーズを適宜確認した。また、センターパンフレットを配架依頼した。	今後、必要に応じて情報交換を行っていく。
⑦ 市高齢者施策を通じた PR の依頼（市広報等への掲載依頼） 【広報部会】	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。(掲載延回数 24 回) 羽村駅・小作駅に「会員・仕事募集チラシ」を掲示した。	シルバー人材センター事業のPRを行った。
⑧ センター車輛を活用した PR 【総務部会】【広報部会】	「入会募集」・「お仕事募集」のCuttingシートを貼りつけた軽トラックでPR活動を行った。	市民のシルバーへの認知度を上げ、会員増強に繋げた。
⑨ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施 【総務部会】	実施なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
⑩ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せた PR 活動の実施 【広報部会】	・市内清掃ボランティア 10月20日実施 参加者 128 名 ・シルバー人材センターオンライン写真展出展（10月、東京しごとセンター）	『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋げました。
⑪ 市などが主催するイベント等への参加 【広報部会】	実施なし	チューリップ祭り・産業祭の開催中止に伴い、参加はなかった。
⑫ 女性会員交流会の実施 【女性部会】	10月13日 参加者 13 名	参加会員をグループに分け、就業に関することを中心に活発な意見交換が行われ、女性会員の交流の場として役立った。
⑬ 手芸講習会（手芸班） 【手芸班】	「アクリルたわし」作り 10月6日開催 参加者 3 名 「開運金俵と卵」作り 11月17日開催 参加者 7 名 「綿棒と和布で作るおひな様」作り 2月16日開催 参加者 8 名	手芸講習会の開催を通じて、手芸品販売促進と手芸班会員の増強を図った。

事業名	実施結果	備考
⑭ ふれあい体験講座 【女性部会】	「サボテン教室」 3月9日 参加者17名	会員の文化活動の推進を図った。
⑮ 健康推進事業の推進 【女性部会】	毎週火曜日 44回実施 参加者延384名	フレイル（虚弱）予防を推進し、健康寿命の延伸を図った。 ※フレイル（虚弱）とは、健常から要介護へ移行する中間の段階

(2) 入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
① Web入会の推進 【広報部会】（再掲）	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 申込数18件 入会者5名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。
② 入会説明会の充実 【事業部会】	毎月1回15日（基準日）実施 出席者59名 入会者53名	入会の促進を図った。

(3) 就業相談の充実

事業名	実施結果	備考
① HPでのタイムリーな就業情報の提供 【事務局】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載したほか、新入会員研修会で、「Smile to Smile」の紹介と登録推進を働きかけた。	タイムリーな就業情報の提供を推進した。
② 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 【広報部会】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者数121名
③ 就業相談の充実 【事務局】	毎月1回1日（理事会の翌日）実施 相談者26名	「事務局だより」に開催日時を掲載した。

(4) 様々な分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
資格等一覧の作成 【就業開拓委員会】	資格等一覧を基に、ハローワークの求人情報を確認したが、会員の意向に沿った就業は無かった。	会員の就業意向に叶う求人情報が無く、就業に繋がらなかった。

(5) 会員の退会防止に向けた取組み

事業名	実施結果	備考
① 新たな就業メニューの検討 【総務部会】	令和3年度実施の未就業会員等意向調査を分析したところ、既存職種以外の回答はなかったため、新たな就業メニューの開発は会員意向に馴染まないと考えられるため、事業名及び実施目標を変更することとした。	より多くの未就業会員の就業希望把握のため、未就業会員意向調査書に返信用封筒を同封し、12月に調査対象会員へ送付した。
② サークル活動の支援（新設を含む。） 【総務部会】	サークル活動について、入会説明会の際に、サークル紹介及びPRを行った。	サークル活動の支援を行い、会員増強及び退会防止を図った。

(6) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
① 会員コーディネーターの設置 【事務局】	3名体制を継続し設置した。	福祉・家事援助サービス事業の推進を図った。
② 家事援助就業会員の増強 【事務局】	シルバーだよりはむら（8月号全戸配布）に、家事援助就業会員募集の記事を掲載した。	家事援助サービスの事業量に応じた会員の確保に努めた。

2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

(1) 就業開拓

福祉・家事援助、子育て支援分野の仕事の開拓、高齢者にふさわしい仕事の確保、ホワイトカラー層からの希望の多い事務系職種の就業拡大・開拓を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 就業開拓員の配置 【就業開拓委員会】	就業開拓員1名を事務局に配置した。	
② 就業開拓委員会の開催 【就業開拓委員会】	5月24日、8月5日、11月2日、1月23日 年4回開催	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。
③ PRチラシの配布、ポスティング 【広報部会】 【就業開拓委員会】	シルバーだよりはむらに「スマートフォン教室」や会員募集及び仕事募集の記事を掲載しPRを行った。	「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。

事業名	実施結果	備考
④ 地域に密着した家事援助、子育て支援、介護支援分野の仕事の開拓 【就業開拓委員会】	地域包括支援センターへの訪問（10月15日）及び友愛訪問員会議（12月7日）開催時にリーフレットを活用し、家事援助サービス事業のPRを実施した。	「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。
⑤ 会員から希望の多い職種の就業開拓 【就業開拓委員会】	総務部会が実施した「未就業会員等意向調査」に基づき、就業希望意向のある会員へ就業情報を提供し、就業につなげた。	
⑥ 新規受注先の就業開拓 【就業開拓委員会】	<p>【羽村高齢者クラブ連合会】 実施なし</p> <p>【保育園】 市内13園が実施する「保育展」で、PRスペースを設置していただき、「布団カバー」作製等のPRを行った。（11/23～11/26） 園長会事務局へ、新入园児の保護者向けに「布団カバー」作製チラシのPRを依頼した。（1/27）</p> <p>【空き家管理サービス】 植木班・除草班の供給体制（月1～2件程度対応可）を踏まえ、空き家管理サービスを再スタートさせていくこととした。</p>	
⑦ 「Web受注システム」のPRの推進 【広報部会】	実績38件	ホームページを活用した受注の拡大を図った。
⑧ 人手不足分野の人員確保による就業拡大 【総務部会】【事業部会】	シルバーだよりはむら1月号に、植木剪定作業等の人手不足分野職種を中心とした会員募集記事を掲載し、全戸配布を行った。（広報はむら1月1日号と同時配布）	人手不足分野の人員供給体制を確保し、就業の拡大を図った。
⑨ パソコン教室等の各種教室のPRの強化 【広報部会】	シルバーだよりはむら（8月号全戸配布）、ホームページ等で事業PRを行った。	センターHP等に各種教室の紹介記事を掲載し、受講者増加のためのPRを行った。
⑩ 手芸品・編物品販売の促進（追加） 【手芸班・編物班】 【事務局】	シルバーはむらふれあい祭り及び羽村市産業祭の中止等による手芸品・編物品の売上減の対策として、センター相談室にて、1月16日～1月31日までセールを行った。	手芸品・編物品販売の促進を図った。

(2) リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

事業名	実施結果	備考
リサイクルショップ「トコトン工房」の充実	販売点数 3,403 点 (R3 2,974 点) 売上金 1,321,450 円 (R3 1,077,500 円)	「羽村市、公益社団法人羽村市シルバー人材センター及び株式会社ジモティーとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定書」を締結した。(3月10日)

(3) 自主事業

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

事業名	実施結果	備考
① パソコン教室	受講者 延142名 (R3 延168名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
② 生花教室	受講者 延187名 (R3 延104名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
③ 学習教室	受講者 延49名 (R3 延38名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 着付け教室	受講者 延29名 (R3 延30名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑤ 英会話教室(中級)	受講者 延228名 (R3 延138名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑥ スマートフォン教室 【事業部会】 【就業開拓委員会】	デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」を実施した。 A日程: 11/11、11/18、11/25 B日程: 11/14、11/21、11/28 C日程: 12/5、12/12、12/19 D日程: 12/6、12/13、12/20 E日程: 1/12、1/19、1/26 受講者 延88名 (R3 延69名) センター独自事業の「ステップアップスマートフォン教室」を会員対象に開講した。 (9月～) 受講者 延2名	「スマートフォン教室」を推進した。

3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しました。

(1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	5月13日、6月29日、9月16日、12月16日、1月19日 年5回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 安全対策基本計画の策定 【安全・適正就業推進委員会】	安全・適正就業推進委員会において、検討を行い策定した。	安全・適正就業の推進を図った。

(2) 事故防止措置、安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 「安全就業基準」「安全10ヶ条+1」「交通ルール遵守」の周知・徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会において、安全就業基準(会員のしおり)を配布するとともに安全・適正就業巡回で周知・徹底を図った。また、事務局だよりで、自転車交通安全に関する記事等を掲載したほか、「安全10ヶ条+1」のクリアファイルを総会資料に同封して配布した。(6月)	会員への「安全就業基準」の遵守の徹底を図った。
② 事故の検証及び全会員へのフィードバック 【安全・適正就業推進委員会】	事故の4M分析を行った。また、該当就業先会員へ事故情報を周知し、再発防止を図った。	事故の4M分析を行い、事故情報及び安全就業基準との関連・原因を会員で共有化することにより、再発の防止を図った。
③ SOSカードの配布・携帯の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会時にSOSカードを配布し、安全・適正就業巡回等で周知及び携帯の徹底を図った。	就業中や就業途上での事故や病気の際の迅速な対応につなげるとともに、作業前の点検事項や就業前に自身の体調を把握し、事故の未然防止及び健康意識の増進を図った。
④ 運転業務に関する安全就業基準の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	車両運転者に対し、運転前の健康状態の確認を随時行った。また、事務局だより(9月号)にて、交通安全の周知をした。	車両運転を伴う作業を行う会員に対し、安全運転の推進を図った。

事業名	実施結果	備考
⑤ 受注及び契約時における就業現場の安全確認 【安全・適正就業推進委員会】	就業会員や担当職員が新規就業契約時に確認を行った。また、民間の継続受託作業を中心に作業マニュアルを整備し、会員交代時に危険箇所等の引継ぎができるようにした。	就業現場に潜む危険箇所を事前に確認することで、事故を防ぎ、危険を伴う可能性が高い作業については受注しないよう努めた。
⑥ 作業の受注量制限や休業日・予備日の設定の検討 【安全・適正就業推進委員会】	熱中症対策として、最高気温35度以上・暑さ指数31度以上で作業を中止するとともに、8月の作業は原則午前中のみとした。(植木班・除草班) また、作業会員に熱中症計を配布した。	過剰な受注による就業で、会員の体調管理が困難になることを防いだ。
⑦ 市が実施する体力測定の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりで、市主催「ミニ体力測定」(11月号)及び「体力チェックと運動講座」(1月号)を紹介した。	身体機能の低下を自覚し、事故の未然防止を図った。
⑧ 市が実施する健康診断の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だより(9月号)にて周知を行った。	自主的な健康診断の受診を奨励して、健康意識の増進を図った。
⑨ 安全標語の募集 【安全・適正就業推進委員会】	安全標語を募集した。(11月) 応募人数14人 応募数68件	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示するとともに、事務局だよりに掲載し、安全就業の啓発に努めた。
⑩ ヒヤリハット体験の募集 【安全・適正就業推進委員会】	ヒヤリハット体験を募集した。(5月) 報告件数2件	危険箇所の情報を共有して事故の未然防止を図った。
⑪ 安全就業強化月間(7月)における実施内容の検討 【安全・適正就業推進委員会】	委員会において、取り組み内容の検討を行い、7月の強化月間で反映した。	事故ゼロを目指すとともに、強化月間中における会員の安全意識の高揚を図った。
⑫ 「安全宣言」の実施 【安全・適正就業推進委員会】	安全就業強化月間朝礼で唱和した。7月1日 参加者34名	会員同士の安全意識の高揚を図った。
⑬ 各種講習会の開催等 【安全・適正就業推進委員会】	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策講習会 6月6日 参加者13名 ・自転車交通安全講習会 12月15日 参加者12名 ・危険予知訓練 2月21日 参加者14名 ・転倒予防講習会 3月28日 参加者6名 	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。

事業名	実施結果	備考
⑭ 安全・適正就業巡回 【安全・適正就業推進委員会】	5月27日、6月16日、7月19日、9月7日、10月11日、11月11日、12月13日、1月31日、2月8日、3月30日実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。
⑮ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行 【安全・適正就業推進委員会】	シルバーだよりはむら及び事務局だよりを活用し周知した。	会員に安全・適正就業の情報を提供し、意識の徹底を図った。
⑯ 自転車損害賠償保険への加入状況の確認及び制度の周知徹底 【安全・適正就業推進委員会】	派遣就業会員に対して自転車保険加入の確認を行った。 事務局だより(2月号)で、制度の周知徹底を図るとともに、新入会員に対し入会時に自転車保険加入義務の説明・周知をした。	自転車損害保険等の加入義務化に伴い、制度の周知徹底を図ります。

4 就業の改善

(1) 未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、新入会員研修及び就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 【広報部会】(再掲)	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者数 121 名
② ワークシェアリングの推進 【事業部会】	広報配布会員への意向調査を実施した。意向調査結果を意向調査結果に基づき、ワークシェアリングを実施した。	より多くの会員に就業機会を提供できるよう、ワークシェアリングを推進していく。
③ 就業基準の徹底 【事業部会】	就業期間満了先一覧を継続就業希望会員に配布した。 ・7月25日～8月5日 資料配布会員 20名 ・1月23日～1月31日 資料配布会員 12名	就業基準を徹底し、長期就業の是正と未就業会員の解消を図った。

(2) 就業会員研修（派遣会員教育訓練）等の実施

事業名	実施結果	備考
① 財団主催の各種講習会情報を提供 【事業部会】	新入会員研修会や事務局だより等で、財団が実施する「就業支援講習」について周知した。	会員の技能の向上を図った。
② 会員の作業の質の維持・向上を図るための研修・講習会の実施の検討 【事業部会】	前任者からスムーズに作業を引継ぎ、作業の質を維持できるよう、民間の継続受託作業を中心に作業マニュアルを整備した。	整備した作業マニュアルを活用し、前任者からのスムーズな引継ぎに役立てた。
③ 技能講習会の実施 【事業部会】 【総務部会】	「植木剪定講習会」 2月28日実施 参加者4名	人手不足分野の人員供給体制を確保するための講習会を実施した。
④ ビジネスマナー研修 【事業部会】	研修形式を「会員自己研修方式」とし、8月の就業会員（428名）に対し、財団作成の「接客マニュアル」を配布した。	お客様の満足度の向上に繋がった。
⑤ 新入会員研修 【事業部会】	毎月1回（原則理事会翌日）開催 出席者51名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。

(3) 顧客満足度の向上

事業名	実施結果	備考
① 発注者アンケートの実施（3年ごと） 【事業部会】	中期計画策定に合わせ、令和5年度に行うこととした。	

5 適正就業の推進

事業名	実施結果	備考
① 適正就業ガイドラインに沿った事業運営 【事務局】	「適正就業ガイドライン」に沿って、就業形態（請負・派遣）や、月あたりの就業日数及び就業時間を考慮し、事業運営を行った。	適正就業ガイドラインを遵守し、適正就業を推進した。
② 会員、発注者に対し、適正就業ガイドラインの周知 【安全・適正就業推進委員会】 【事務局】	「適正就業ガイドライン」を新規発注者には受注時に、新入会員へは入会説明会時に配布し、適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。	会員・発注者へ適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。

6 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

事業名	実施結果	備考
① ボランティア活動の推進 【総務部会】	地域班長に対し、新規入会者のボランティア活動への参加希望情報の提供を行った。また、新入会員研修会の際に、活動のPRを行った。	ボランティア活動への参加促進を図った。
② 市内清掃ボランティア活動の実施 【総務部会】	第1回 6月9日実施 参加者 133名 第2回 10月20日実施 参加者 128名	会員による市内清掃ボランティアを行った。10月は東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に合わせて実施した。
③ 市事業等へのボランティア協力 【総務部会】	市の実施する「放課後子ども教室」ボランティア募集チラシを入会説明会の際に配布した。	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。
④ 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の実施 【総務部会】	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 (週1回～5回) 羽村東小学校・羽村西小学校・富士見小学校・栄小学校・小作台小学校	◎各地域班の活動実績 実人員 延人員 1班 17名 332名 2班 11名 216名 3班 2名 68名 4班 12名 811名 5班 12名 140名 6班 8名 144名
⑤ 「ほっとカフェ」の実施 【女性部会】	実施なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
⑥ 保育園訪問ボランティア活動の実施 【女性部会】	あおぞら保育園でバルーンアート披露の保育園訪問ボランティアを実施し、女性部会委員等5名が参加した。 6月30日訪問	地域貢献と女性会員の生きがいの充実を図るとともに、家事援助・育児支援サービスのPRに役立てた。
⑦ 各地域班が実施するボランティア活動についての情報共有化(追加) 【総務部会】	地域班長会議において、各地域班のボランティア活動に関するアンケートを実施し、情報共有化を図った。(2月15日)	

7 財源の確保

補助金の確保、自主財源確保のための受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 国、都、市への補助金獲得のための要望 【事務局】	国・都・市へ補助金の申請を行った。	安定した財政運営を推進するため、各種補助金の拡充及び継続を要望した。
② 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進 【事務局】	節電の実施、内部印刷の推進や自動車リース契約の見直しを行い経費節減に努めた。	より一層の経費節減に努めた。
③ 派遣事業拡大によるサポート補助金及び事務委任手数料の確保 【事務局】	派遣事業実施に係る事務委任手数料収入を得た。	サポート補助金を最大限に活用し、派遣事業を拡大することで、事務委任手数料収入の増加を図った。
④ 自動車安全装置支援事業助成金の確保（追加） 【事務局】	11台分の助成金を確保した。	
⑤ 情報通信利用促進支援事業費（利用者向けデジタル活用支援推進事業）補助金の確保（追加） 【事務局】	デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」の実施にかかる経費所要額を確保した。	

8 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 定時総会	令和4年6月22日開催 ゆとろぎ小ホール 出席者495名 出席率81.4% (出席者30名、委任状による代理出席及び議決権行使書提出者465名)	令和3年4月1日から令和4年3月31日までの計算書類等の承認の件について決議した。
② 理事会	年13回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
③ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。

事業名	実施結果	備考
④ 女性部会	年5回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。
⑤ 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】 (再掲)	年5回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
⑥ 就業開拓委員会 【就業開拓委員会】(再掲)	年4回開催	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。
⑦ 中期計画推進委員会 【中期計画推進委員会】	年1回開催	中期計画の進捗状況及び計画内容等について検討を行った。
⑧ 地域班連絡員会議 【事務局】	実施なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
⑨ 地域班長会議 【事務局】	年2回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。
⑩ 地域班への支援 【事務局】	地域班助成金と通学児童見守りボランティア助成金を各地域班に交付した。(6月)	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
⑪ 会員の親睦、交流の推進 【総務部会】	実施なし	シルバーはむらふれあい祭りが中止となったため、本事業の実施も中止とした。
⑫ 班体制を含めた地域班のあり方の検討 【事務局】	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、活動可能な状態になった後に、地域班役員の負担軽減等に努めるべく地域班のあり方を検討していくこととした。	地域班の再編成等の検討を行い、より機動的に柔軟に動ける地域班体制を推進した。
⑬ 職員の人材育成のための目標管理制度の実施 【事務局】	目標管理制度を実施した。	目標管理制度を活用し、人材育成を図った。
⑭ 研修会等への参加による職員の能力向上 【事務局】	財団主催の各職層研修及び専門研修を受講し、能力向上を図った。	職員の資質向上を図った。
⑮ 派遣事業拡大に伴う、産業医及び衛生管理者、安全衛生委員会の設置 【事務局】	派遣会員数 39 名のため未設置。 (派遣会員数 50 人以上で要設置)	派遣会員数が 50 名以上となった場合、設置する。
⑯ 会員参画の運営 【事業部会】	事務局だより(10月号)に提案箱設置中の記事を写真入りで掲載し、会員からの企画提案を募集した。(提案0件)	